

公立大学法人広島市立大学地域・産学連携ポリシー

令和6年11月27日制定

公立大学法人広島市立大学（以下「本学」という。）は、「国際平和文化都市の『知』の拠点ー地域と共生し、市民の誇りとなる大学ー」を目標として、地域社会、行政機関、産業界等との円滑な幅広い交流及び連携を推進し、優れた教育研究の成果を社会に還元することにより、文化の向上と社会の発展に寄与します。

本学が地域・産学連携を推進するにあたっての基本姿勢は次のとおりです。

1 教育と研究を軸として連携に取り組みます。

教育や研究の成果を社会に還元するとともに、地域・産学連携を通じた教育研究活動を積極的に行います。

2 国内外の様々な組織・機関と広く連携します。

広島広域都市圏をはじめとする地域のコミュニティや非営利組織（NPO）、行政機関、産業界、企業など学外の様々な組織・機関との地域・産学連携を通じて社会に貢献します。

3 多様な形態の連携を行います。

地域連携・産学連携のほか、既存の枠組みにとらわれない、連携先の要望に応じた連携の実現を目指します。

4 相互の権利を尊重して連携を推進します。

教職員・学生、連携先のそれぞれの権利を尊重しながら、効果が最大になるように個々の地域・産学連携を組織的に推進します。

5 連携に当たっては公平性と透明性を確保します。

地域・産学連携についてその活動や成果の情報公開を積極的に行うとともに、法令や学内規程を遵守することで高い公平性と透明性を確保します。

6 連携の継続的な活性化を図っていきます。

自己点検・評価に基づき地域・産学連携の継続的な活性化を図ってまいります。